

「安全対策工事」の実施状況

- ▶ 女川2号機においては、「地震・津波対策」を強化するとともに、万一の事故に備え、設備面（ハード面）の対策として「電源の確保」、「冷却機能の確保」ならびに「閉込機能の確保」を多重化・多様化している。また、設備面の対策だけでなく、多重化・多様化した設備を適切に扱えるよう、社員のスキル向上（ソフト面）を目的に、日頃よりさまざまな状況を想定した訓練を繰り返し実施している。
- ▶ 2024年2月の完了を目指している安全対策工事に関して、主な安全対策工事（写真上段）については計画どおり進捗しており、現在、設置が完了した設備・機器の「使用前事業者検査※」を順次行っている。また、「追加で実施している電線管の火災防護対策工事」（写真下段）についても計画どおり進捗している。 ※安全対策工事の施工状況に応じて、工事の内容が工事計画認可のとおり実施されていること、また、さまざまな設備が法律に基づく技術基準等に適合していることを確認するため、事業者（当社）が適宜実施するもの。

【防潮堤】



※ 海拔29m、全長約800m

【フィルタ付き格納容器ヘント装置】



※ 原子炉圧力容器や原子炉格納容器の損傷防止、放射性物質の放出による環境影響を抑えるための装置。万一の際の放射性物質の放出量を直接放出時に比べ1,000分の1以下に抑制する。

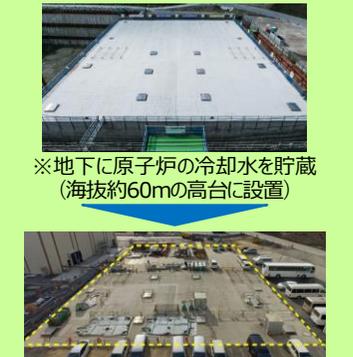
【緊急用電気品建屋】



※ 建屋内にガスタービン発電機車を格納

※ 建屋壁設置後

【淡水貯水槽】



※ 地下に原子炉の冷却水を貯蔵（海拔約60mの高台に設置）

※ 上部舗装工事後

【緊急時対策所】



※ 原子力災害が発生した場合の現地対策本部（海拔約60mの高台に設置）

【追加で実施している電線管の火災防護対策工事】



施工範囲

火災防護の施工前

電線管を耐火材でラッピング（施工中）

外装板を取付（施工完了）

「理解活動」の実施状況

- 女川2号機の再稼働に向けて、さまざまな「理解活動」に取り組んでいる。
- 発電所周辺にお住まいの方々に発電所に関する情報をお伝えしながら直接ご意見などを伺う「こんにちは訪問」、各種団体・企業・一般の方々を対象とした「発電所見学会」、発電所まで足を運ばない方などを対象とした「VR見学会」を継続的に実施している。
- また、当社ホームページの原子力情報に係るコンテンツを随時リニューアルし、情報内容の充実化を図っているほか、発電所の立地・UPZ地域にお住まいの方々に「発電所だより」などの広報紙をお配りし、発電所の状況をお知らせしている。

【こんにちは訪問】



- 1994年以降、毎年(年2回：7・12月)実施している対話活動。対象地域は、女川町、石巻市牡鹿半島部。

【発電所見学会】



- 各種団体、企業、一般の方々を発電所構内にご案内し、発電所の状況を直接ご覧いただく見学会を開催。

【VR見学会】

※ VR映像イメージ



- パーチャルゴーグルを用いて、発電所の構内、建屋内の様子を360度映像で自由に見ることができるため、発電所見学の疑似体験が可能。

【当社ホームページコンテンツ】



- 原子力情報
<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/>
- 女川原子力発電所における主な安全対策と工事状況
https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/onagawa_safety/index.html

【発電所だより(広報紙)】

※ 2023.10.23 発行



- 女川原子力発電所の安全対策の取り組み状況や地域での活動、発電所周辺の放射線量など、発電所に関する情報を立地地域(女川町、石巻市)にお住まいの方々を中心に毎月お知らせしている。
- 女川原子力発電所 インフォメーション (バックナンバー閲覧可)
https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/onagawa/info_o.html

【東北電力からのお知らせ(広報紙)】



※ 2023.10.28 発行

- 立地(女川町、石巻市)・UPZ(登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町)地域にお住まいの方々に、発電所や地域に関する情報などをお知らせしている。(不定期)
- 女川原子力発電所 インフォメーション (バックナンバー閲覧可)
→左記「発電所だより」に記載の「女川原子力発電所 インフォメーション」と同じ